名古屋鉄道新聞

～ミュースカイに乗って～

瀬戸SOLAN
学園初等部
5年
豊嶋 治伎
2024年 9月

名鉄で一番の快適さを駆使した ミュースカイ

2023年9月8日撮影

今年6月に130周年を迎える名古屋鉄道(愛称名鉄)。2004年に中部国際空港へのアクセス用特急として登場した「ミュースカイ」の魅力について紹介します。

ミュースカイ基礎情報

全席指定なので、乗車券の他にミューチケット(特別車両券)が必要です。

ミュースカイの名前の由来は、名古屋鉄道の略称である名鉄(Meitetsu)の頭文字「M」と名鉄特急の特別車の愛称「ミュー(ミュー)」と空港をイメージさせる空の意味である「sky」を組み合わせた「ミュースカイ」がふさわしいと命名しました。(名古屋鉄道のすべて「旅と鉄道」編集部編)

車体のカラーは、赤を基調とした列車が多い名鉄としてはめずらしく、青と白で構成されています。

ミュースカイ構造

最高速度は120km/hです。

このミュースカイの一番の快適さを駆使している理由は、私鉄初となる、車体傾斜制御装置の導入です。ミュースカイはその中の「空気バネ車体傾斜制御方式」を採用しています。空気バネ車体制御方式とは、曲線通過時に、車体にかかる遠心力を軽減するために、通常はクッションとして付けられている空気バネを、一時的に空気を入れたり、圧縮させたりする事で車体を内側に傾けられる装置の事です。

この事により、乗り心地を上げたり、曲線通過速度の向上により、中部国際空港への到着時間短縮をすることができるようになりました。

通常は4両編成ですが、ラッシュ時には4+4の8両編成で運行しています。

ミュースカイ内装

荷棚には、LED照明が組み込まれており、中部国際空港の手前になると通常白のLEDが青色に変わり、荷棚に忘れ物がないか注意を促しています。それに加えて車両の両端に普通の荷物置き場もあり、沢山の荷物を荷棚に置くことができます。

車内掲示板と、車内アナウンスは、これまでは日本語と英語だけでしたが、2019年に改良され日本語、英語、中国語、韓国語の4か国語を表示、アナウンスできるようになりました。また、車内掲示板は、走行中に前面にあるカメラにより掲示板から前の景色を見ることが出来ます。その掲示板には走っている速度も見ることが出来ます。

モ2050形の車両(マーク付きの車両)には、車椅子対応席やバリアフリーのトイレ設備、車椅子対応ドアがあります。しかも、車椅子対応席は一人席でもあるので一人旅をする方にはおススメです。

2024年9月17日撮影

乗ってみた感想

荷棚LEDと、車内掲示板のシステムに感動した。また、一人席が4両に一つしかなく、いつも予約で埋まっていて席が取れなかったのに本当で、車椅子に必要な方が使えているのか心配になった。一人席がもっと増えたらいいなと思った。

今後の名鉄に望む事

僕がこれから名鉄に期待したい車両のイメージを紹介します。

1.1300系
パノラマスーパーの進化形で、両端に展望席があり、8両編成。特別車が1、2、7、8両目で、普通車が3～6両目。なぜなら、いま、岐阜方面に特別車があるのがミュースカイ(m-sky)だけで普通の通勤型特急で岐阜方面に特別車がある車両がないから。8両フル編成が名鉄に存在しないから出てきたら便利だと思う！

2.9600系
通勤型電車が2両と4両しかないから。最新型の9500系の6両編成がたらもっと車内移動が便利だと思う！

3.9700系
9500系の8両ver.なぜなら8両フル編成が名鉄に存在しないから出てきたら便利だと思う！

4.2500系
ミュースカイ(m-sky)の6両ver.なぜならミュースカイ自体が4両編成しかないから6両編成がでてきたらラッシュ時と少し混む時間帯とも分けれるからいいと思う！

編集後記

僕は今回、ミュースカイについて、改めて調べると分かった事や、知らなかったことが沢山あった。
ミュースカイは元々凄い車両なのは知っていたけど、さらに魅力的に感じた。
将来、鉄道についてもっと学び、それを研究する仕事に就けたら良いなと思う。
そして、今よりもっと早い車両を作りたい。

祝 創業百三十周年!!

一八九四年六月二十五日、愛知馬車鉄道株式会社設立から百三十周年を迎えた、名古屋鉄道。創業百三十周年記念品として、記念乗車券を発売したので購入しました。その内容を紹介します。

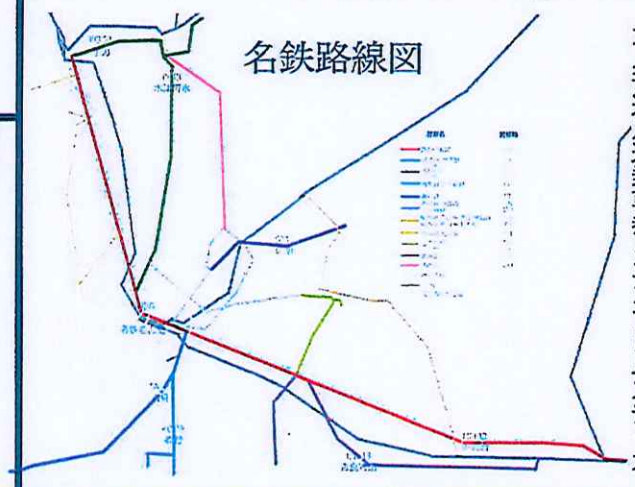
＜発売日：発売箇所＞
①二〇二四年六月二十五日：東岡崎駅（現在名鉄名古屋駅サービスカウンターにて販売）
＜乗車券通用期間＞
二〇二四年六月二十五日から、二〇二五年三月三十一日までの一回限り有効。
＜発売金額＞
一セット　一三〇〇円
＜内容＞
*駅ナンバリングが、「十三」の駅から一三〇〇円区間の、大人普通片道乗車券とエンブレムステッカーをセットにしたものです
*駅ナンバリングとは、駅名に固有のアルファベットや番号を併記したもの。
例：名鉄名古屋駅は、名古屋本線の豊橋駅から36番目の駅なので、NH36と表記

写真は①の乗車券

駅ナンバリング

記念乗車券の解説

記念乗車券は中が開けて、開くと名古屋鉄道の百三十年の歩みが乗っています。エンブレムステッカーがとても気に入りました



青と白の色が反転した ミュースカイ!?

名鉄は創業130周年を記念して青と白の色を反転させたミュースカイを登場させた。その名は「ブルーミュースカイ」
ラッピングされた車両は2000系2003編成。
ブルーミュースカイの凄いと思ったところを三つ紹介します。

1.座席のヘッドレストカバー

ヘッドレストカバーが名鉄130周年仕様になっていて、ブルーミュースカイの絵とブルーミュースカイのロゴマークがヘッドレストカバーにがらとしてあったのがすごくカッコ良かったです。

2.天井の両端

天井の両端に歴代の特急電車が全て載っていてみているだけで楽しかったです。

3.外観

通常のミュースカイと色を反転させているのに驚きました。ロゴマークが130周年仕様になっていてカッコよかったです。

写真：2024年6月30日撮影

4.車内ドア
車内ドアが、ガラスに130周年のロゴマークが載っていました。